

# ワーク・ライフ・バランスは、成長と発展につながる「明日への投資」

長時間労働が恒常化して、残業手当のコストが大きい…

メンタル面等の理由での退職者が増加している…

中間管理職層が介護で退職、退職を考えてるようだ…

育成した人材がすぐにやめてしまう…

勤務時間も疲労感で一杯…

残業ばかりで自分の時間もないし、カラダもくたくた…

育児や介護のため仕事はやめなきゃ…

仕事のアイデアがうかばない…

従業員が豊かな生活を送ることができる職場環境を整備すると、生産性を高めることができます。また、従業員の能力が向上するとコスト削減も可能になります。

働き方を見直し、仕事の効率を上げると、時間に余裕を得ることができ、充実した生活が送れます。また、充実した生活で得た人脈、スキル、アイデアで仕事への質と効果を高め、仕事にやりがいや充実感が得られます。

## WLBに取り組むメリット

**人材確保** **コスト削減** **業績アップ**

**従業員への定着・優秀な人材の確保**  
育児や介護での離職がなくなり、従業員の知識や経験が失われることなく発揮され、新たな採用・育成コストも不要になります。

**企業のイメージ向上**  
先進的な取組を様々な機会を通じてPRすることで、企業の知名度の向上が期待できます。

**コストの削減**  
業務の効率化や離職回避によりコストが削減できます。長時間労働の是正により残業代や光熱費などが削減できます。

**従業員の満足度や仕事への意欲向上**  
従業員の働き方等のニーズに応えることにより、会社への満足度が向上し仕事への意欲が高まります。

**従業員の能力向上**  
子育てや介護、地域活動、自己啓発などの多様な経験により、生活者の視点や創造性、時間管理能力が向上します。また、業務分担の見直しや業務応援などにより、周りの従業員の能力も向上します。

**生産性の向上**  
業務目標を変えずに効率化をすすめることにより、労働生産性が高まります。

Win-Win

## WLBに取り組むメリット

**やる気ができる** **知恵ができる** **成果ができる**

**時間管理能力の向上**  
育児、介護の経験を通じて時間の使い方が上手になったり、短時間で効率的に働こうと意識することで時間管理能力が向上するとともに労働生産性が向上します。

**仕事以外の時間の充実**  
仕事以外の時間を十分に確保すれば、家族とふれあう時間や趣味、自己啓発、地域活動に参加するための時間が充実し人間としての成長もできます。

**心身の健康の保持増進**  
長時間労働による心身の疲労や、仕事と育児、介護の両立の悩みなどが解消され、仕事以外の時間を充実させることにより、ストレス軽減など健康増進が図られます。

**生活者としての視点、創造性の向上**  
自己啓発によるスキルアップや異業種間交流、地域活動への参加などの様々な経験や体験により生活者の視点、想像力が向上し、新たな発想による商品やサービスの開発、提供にもつながります。

## WLBへの取り組み事例

**休暇・休業制度の充実** (法定を超えた制度)

- ◆配偶者出産休暇
- ◆自己啓発、ボランティア等のための休暇・休業
- ◆従業員の誕生日休暇やリフレッシュ休暇

**働く時間の見直し**

- ◆始業、終業時刻の繰上げ、繰下げ制度
- ◆ノー残業デー

**働く場所の見直し**

- ◆在宅勤務
- ◆転勤の配慮(転勤免除、転勤先希望考慮等)

**復職支援**

- ◆退職者等の復職相談、復職研修
- ◆育児、介護休業等の取得が不利とならない人事考課制度
- ◆結婚で退職した女性等の再雇用制度

**その他の支援**

- ◆自己啓発費用補助
- ◆保育サービス費用補助
- ◆事業所内の保育、託児施設の設置・運営

WLBへの取組方法はいろいろあります。まず、あなたの会社の実態や状況に合わせてできることから取り組んでみましょう。

## WLBへの取り組み事例

**時間管理**

- ◆必要な仕事かどうか業務分析等をする
- ◆残業を見込まない業務予定を立てる
- ◆仕事の移動時間等の隙間時間を活用
- ◆スケジュール帳を上手に活用

**家庭生活**

- ◆家事分担を提案
- ◆育児、介護に積極的に関わる
- ◆家族旅行を計画

**意識改革**

- ◆業務マニュアル等作成し、自分にしか分からない仕事はつらい
- ◆だらだら残業などはやめ定時に帰る
- ◆自分の働き方にコスト意識を持つ

**スキルアップ**

- ◆資格取得
- ◆セミナー、勉強会に参加

**交流**

- ◆ボランティアの活動
- ◆地域のイベントに参加
- ◆異業種交流会に参加
- ◆スポーツに親しむ

## コスト試算 残業代はどれだけ削減できる?

残業時間が従業員1人あたり1日30分短くなると、企業全体で1年間に削減されるコストは?

	従業員が1,000人の企業	従業員が500人の企業	従業員が50人の企業
削減コスト	30,814万円	13,588万円	1,253万円
人件費(残業時間削減分)	(29,831万円)	(13,097万円)	(1,204万円)
光熱費(残業時間削減分)	(983万円)	(491万円)	(49万円)
投入コスト(残業削減推進担当の人件費)	91万円	80万円	73万円
<b>純削減コスト</b>	<b>3億723万円</b>	<b>1億3,508万円</b>	<b>1,108万円</b>

皆で業務の見直しをしたおかげで、従業員はメリハリのある働き方を心掛けイキイキしてきたわ!しかも、コストの削減もできたわ!

働き方を見直して効率化に努め残業時間を短くすれば、業務目標を変えずに生産性を向上させることになります!

出典:内閣府「男女共同参画会議・仕事と生活の調和に関する専門調査会」(平成20年4月)

## コラム G7の中で一番低い日本の労働生産性

日本人は長時間働かないと「成果」は出せないんだね…海外では効率よく働いているのに…

日本の労働者一人あたりの生産性は主要先進国の中でも最低水準

※労働生産性とは、労働者一人あたりの付加価値額をいい、労働の効率性を図る尺度です。労働生産性が高い場合は、投入された労働力が効率的に利用されているといえます。

出典:(公財)日本生産性本部「労働生産性の国際比較2012年版」

## コラム 管理職世代で介護等を理由とした離職者の増加

日本の高齢化は急速に進んでおり、家族の介護、看護を理由に離職、転職した人数は増加傾向となっています。

明日は我が身!仕事の段取りを工夫するなど効率よく働き残業時間を短縮し、業務は「見える化」して自分にしかわからない仕事はつらいようにしとかなないと!いけない!

5年間で1.74倍に増加し、その年齢層は管理職世代である40歳~59歳が41.4%!

出典:内閣府「平成24年版男女共同参画白書」